

## 第三回 班会議 議事次第

平成26年1月22日(水) 13時～16時

東京大学医科学研究所 総合研究棟大会議室

### 1. 開会挨拶

### 2. 班員発表

※ 発表10分・質疑応答3分  
※ 呼び鈴：1回(7分)、2回(10分)、3回(13分)

13:05 - 13:26 中井 謙太 (東京大学医科学研究所)  
13:26 - 13:39 大和 雅之 (東京女子医科大学)  
13:39 - 13:52 今井 浩三 (東京大学医科学研究所附属病院)  
13:52 - 14:05 梅澤 明弘 (国立成育医療研究センター)  
14:05 - 14:18 岡野 栄之 (慶應義塾大学)

14:18 - 14:40 Coffee Break

14:40 - 14:53 高橋 政代 (理化学研究所)  
14:53 - 15:06 中辻 憲夫 (京都大学再生医科学研究所)  
15:06 - 15:19 中畑 龍俊 (京都大学iPS細胞研究所)  
15:19 - 15:32 西田 幸二 (大阪大学)  
15:32 - 15:45 藤渕 航 (京都大学iPS細胞研究所)

### 3. 総合討論

### 4. その他 (伝達事項等)

## 4. システム説明会資料

# 厚労省 再生医療HW 第一回システム説明会

No.	内容	説明者	予定時間 (分)
1	概要説明	医科研	5
2	システム説明 システム構成 拠点機器構成 ソフトウェア構成 拠点間データ共有について 実験ノート-デジタルペン説明	日立	20
3	解析ソフトウェアの紹介	NEC, MKI, MRI	20
4	運用／保守説明 管理者権限の管理、保守連絡ルート など	医科研・日立	10
5	端末デモ デジタルペン その他		30

## 厚生労働科学研究費補助金 ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための 基盤構築に関する研究

### 再生医療HW基盤システム ～ ご利用にあたって ～

2013年4月26日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 中井研究室  
w3reghw@hgc.jp

2013/4/26

## 再生医療HW基盤システムアカウントの申請

### [ 利用資格 ]

- ・ 本プロジェクトの遂行を利用目的とする者(その利用目的以外には使用しないこと)
- ・ 所属する拠点の研究分担者が利用を認めた者

### [ 取得アカウントで利用できるサービス ]

- ・ 実験データの拠点間共有
- ・ 実験データの解析ツールの利用

### [ 申請方法 ]

- ・ IT担当者が 申請してください。
  - ・ 以下の内容を記載して、メールで申請してください(2013/04/26時点。今後、書面による申請に変更予定)。  
To: [w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp), Cc: 研究分担者, 専任作業員, IT担当者
    - ・ 利用者氏名
    - ・ 利用者所属
    - ・ 利用者連絡先(住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス) (\*)
    - ・ 研究分担者氏名、専任作業員、IT担当者
    - ・ 希望アカウント名
    - ・ 使用目的
  - ・ アカウント、初期パスワードを送付します。**初期パスワードは速やかに変更してください。**

### [ 作成されるアカウントの種類 ]

- ・ 拠点、データセンタ共通Linuxユーザアカウント(札幌データセンタのLDAPサーバで一元管理)
- ・ 拠点Windowsサーバアカウント
- ・ 拠点NASストレージ(VFP)アカウント

(\*) パスワードの送付、システムの連絡事項の送付などの連絡に利用いたします。

2013/4/26

## 拠点機器のアップデート、インストール、更新について

### [ 拠点Linuxサーバ ]

- 基本的には、パッケージetc.のアップデートはせず、現状でFixとします。
- パッケージの追加インストールは再生医療HWネットワーク内にあるパッケージ管理システムyumのレポジトリサーバを使用します(設定済み)。

### [ 拠点Windowsサーバ ]

- Windowsアップデートはダウンロードのみ自動。実行は、再起動を伴う場合があるので、手動で行います。
- ウィルス対策ソフト(Symantec Endpoint Protection)のパターンファイルは自動更新されます。

### [ 拠点スレート端末 ]

- Windowsアップデート、ソフトウェアのインストール等は、拠点の責任下で行ってください。但し、本プロジェクトでの利用目的以外のものをインストールするのはお控えください。
- セキュリティを考慮し、他のネットワークには接続しないようにしてください(必要な場合は適宜ご相談ください)。

### [ デジタルペン&実験ノート ]

- 実験ノートの仕様上、実験ノートを使い切り、新しい実験ノートを利用する前に、上書き回避のため、実験ノートデータの固定処理を行う必要があります。[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp) にご連絡ください。
- 拠点サーバへのソフトウェアのインストール, OSのアカウント(\*) 作成については、[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp)にご相談ください。

(\*) 再生医療HW基盤システムのアカウントとは異なります。

2013/4/26

## 拠点IT管理作業

- 拠点の窓口をお願いします。
  - 申請
  - 問い合わせ
- 拠点の機器の管理サポートをお願いします。
  - 不測の緊急事態の場合の機器類の停止、起動をお願いします。
  - 不具合時の対応サポート(不具合取りまとめ、ランプの目視確認など)
  - マシンのアップデートetc.
- デジタルペン、実験ノートの管理をお願いします。

### [ 各拠点IT担当者 ] (2013/04/26現在)

拠点	担当者名	E-mail
東京大学医科学研究所	池田 恵美	w3reghw@hgc.jp
大阪大学	安堵城 悟先生	-----
成育医療研究センター	齋藤 佳代子先生	-----
東京女子医科大学	糸賀 和義先生	-----
慶応義塾大学	赤松 和土先生	-----
京都大学再生医科学研究所	末盛 博文先生	-----
京都大学iPS細胞研究所	磯田 賢一先生	-----

2013/4/26

## 利用上の注意

- 本プロジェクト遂行のために利用し、それ以外の目的では利用しないようお願いします。
- アカウントを他人に貸したり、共有することのないようお願いします。
- アカウントが不要になりましたら、速やかにお知らせいただき、削除を申請してください。
- 端末を利用目的以外に使用しないようお願いします。
- データのバックアップ、共用データのアップロードは、自己責任で行ってください。

2013/4/26

## お問い合わせ

### [ 運用体制 ]

- 別紙「厚労再生医療HWプロジェクト拠点機関からの問い合わせ対応」をご参照ください。

### [ Web ]

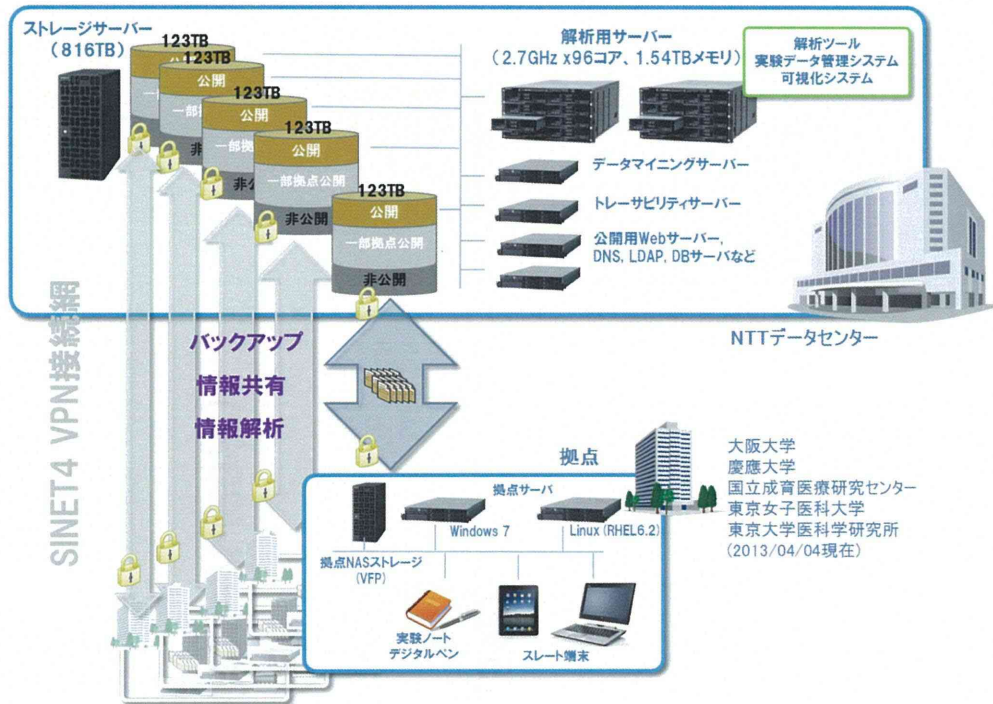
- 再生医療HWネットワーク内で以下をご参照ください。(注:インターネット上ではアクセスできません)  
<http://sv-a01.center.reghw/wiki/>

### [ 直接 ]

- E-mail: w3reghw@hgc.jp
- Tel.: 03-5449-5131
- Fax.: 03-5449-5133

2013/4/26

## 導入システムの全体構成



2013/4/26

## 第二回システム説明会

日時：平成25年6月4日（火） 13:00～14:30

場所：東大医科研総合研究棟8階会議室

本日のアジェンダ：

1. 挨拶・全体概要(5分)
2. 共有データのアップロード・ダウンロード方法 (5分)
3. iLabberの紹介・利用方法 (20分)
4. Spotfireの紹介・利用方法 (20分)
5. 実験データ管理システムと可視化ツール (20分)
6. 遺伝子発現プロファイル解析システムと可視化ツール(20分)
7. お知らせ(5分)



厚生労働科学研究費補助金  
ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための  
基盤構築に関する研究

再生医療HW基盤システム  
～ お知らせ ～

2013年6月4日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 中井研究室  
w3reghw@hgc.jp

2013/6/4 第二回システム説明会

## 再生医療HW基盤システムユーザアカウント申請書方法の変更

申請用紙を作成しました。

今後は、申請書に記入し、研究分担者の署名・捺印の上、IT担当者より郵送またはメールで申請してください。

研究分担者の署名・捺印のないものは、アカウントの作成ができませんので、ご注意ください。

- 用紙
  - <http://sv-a01.center.reghw/wiki/>
  - 後日、IT担当者宛に添付ファイルで送信します。
- 郵送  
〒108-8639  
東京都港区白金台4-6-1 東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター  
機能解析イン・シリコ分野 池田宛
- E-mail  
スキャンしたpdfデータを、[w3reghw@gw.hgc.jp](mailto:w3reghw@gw.hgc.jp) 宛にお送りください。

2013/6/4 第二回システム説明会

## セキュアなVPN環境を維持するために

### [ Firewallでの閲覧制限の実施 ]

- 第1回システム説明会でお話したように、6月中にFirewallでの閲覧制限を実施する予定です。
  - Evernote, Webメール系、パブリック・クラウド、skypeなど。

### [ HWシステムへの機器の接続 ]

- 配布された端末が足りない場合は、拠点の研究分担金で専用の端末をご購入願います。

### [ 外部公開について ]

- 原則として、外部ネットワークとの接続はしない方針です。
- データはスレート端末に取り込んで、外部の方にお見せください。
  - 円滑な取り込み方法を検証中です。
- DMZにある外部公開用のWebについては、成果公開用。

ご要望は、[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp) までお願いします。

2013/6/4 第二回システム説明会

## お問い合わせ

### [ Web ]

- 再生医療HWネットワーク内で以下をご参照ください。(注: インターネット上ではアクセスできません)  
<http://sv-a01.center.reghw/wiki/>

第1回システム説明会でお配りました「厚労再生医療HWプロジェクト拠点機関からの問い合わせ対応」もこちらから参照いただけます。

### [ 直接 ]

- E-mail: [w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp)
- Tel.: 03-5449-5511, 5131
- Fax.: 03-5449-5133

2013/6/4 第二回システム説明会

## 第三回システム説明会

日時：平成25年 8月29日(木) 15:00～17:00

場所：東京大学 医科学研究所 総合研究棟8階 会議室

### 1. ご挨拶

厚生労働省医政局研究開発振興課再生医療研究推進室 堀 裕行 室長

### 2. 現在の進捗状況報告

東京大学医科学研究所 中井謙太

### 3. 再生医療HWプロジェクト 基盤システムの活用事例

- 大阪大学における再生医療基盤システムの活用事例  
大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学）  
○安堵城悟, 大家義則, 林竜平, 佐々本弦, 相馬剛, 辻川元一, 西田幸二
- 事例報告 国立成育医療研究センター  
独立行政法人国立成育医療研究センター 生殖・細胞医療研究部  
○石井隆雅, 原まり子, 栗山幹浩, 齋藤佳代子, 梅澤明弘
- 厚労省再生医療HWプロジェクトのNASの利用事例、及び実験ノートの電子化  
東京女子医科大学先端生命医科学研究所  
○梅本晃正, 糸賀和義, 宮田明子, 大和雅之
- CPC内作業のペーパーレス化とヒト骨髄間質細胞の品質管理マーカーに関する予備的検討  
東京大学医科学研究所附属病院 先端診療部 骨再生診療科<sup>1</sup>  
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野<sup>2</sup>  
東京大学医科学研究所 再生基礎医科学寄付研究部門<sup>3</sup>  
東京大学医科学研究所附属病院 病院長、抗体・ワクチンセンター、緩和医療科<sup>4</sup>  
○各務秀明<sup>1,2</sup>, ○澤田幸子<sup>2</sup>, 相原祐子<sup>3</sup>, 今井浩三<sup>4</sup>

### 4. 基盤システムからのお知らせ

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター  
池田恵美

# 厚生労働科学研究費補助金 ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための 基盤構築に関する研究

## 再生医療HW基盤システム ～ お知らせ ～

2013年8月29日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 中井研究室  
w3reghw@hgc.jp

1

2013/8/29 第三回システム説明会

## 基盤システムのセキュリティに関する取り組み

### [セキュリティの維持]

- ・ 仮想的な専用線環境を実現するVPN(Virtual Private Network)による、クローズドな拠点間ネットワーク環境
- ・ ベンダサポートとの連携
  - ・ ベンダ検証済みのパッケージの適用など
- ・ ウイルス対策ソフトの一元管理
  - ・ 各拠点Windowsサーバにて、Symantec Endpoint Protection Managerを稼働させて、Windowsスレート端末のウイルス対策ソフトの稼働や更新の状況を把握しています。
- ・ セキュリティニュースより最新情報の入手
  - ・ これにより、Linuxのセキュリティホールに迅速に対処しました。
- ・ インシデントの対応と報告
- ・ セキュリティコンサルの検討

### [障害の検知]

- ・ メールによる各種機器のステータスレポート
- ・ 監視ツール(Zabbix)、監視システム(PC アシスト)による障害検知システムの稼働
  - ・ 基盤システム内の全サーバを網羅しています。
  - ・ これまでに、ネットワークがつながりにくい状況やディスク超過などを事前に検知し、対処しています。
- ・ 検知した障害の調査、報告と対応

### [日々の運用監視]

- ・ 日々の監視項目、週単位での監視項目を決め、チェックしています。

2

2013/8/29 第三回システム説明会

## セキュリティを維持するためのお願い

### [ 基盤システムへの機器の接続]

- 外部機器、外部から入手したデータを基盤システムに保存する場合は、必ず、基盤システム内のウイルスセキュリティ対策ソフトでウイルスチェックをしてください。
- Windowsスレート端末は定期的に基盤システムに接続して、ウイルス定義パターンを更新してください。接続すれば自動的に更新されます。
- 新たに機器を追加する場合は、[中核拠点w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp)までご連絡ください。

### [ 基盤システムの機器の修理]

- 機器を修理に出す場合は、保存されているデータやログ、パスワードに注意してください。場合によっては、OSを再インストールする方が安全かもしれません。
- 修理に関するご相談を承ります。

ご要望は、[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp) までお願いします。

## 基盤システムへの機器の追加について(暫定)

プロジェクトの活性化にともない、基盤システム内に機器の導入、追加のケースがでてくると思います。中核拠点では、導入、追加に際し一定のセキュリティルールを設け、システム全体のセキュリティを維持し、安全に利用できるよう、検討しています。

2013年8月29日現在、以下のように、暫定案を考えています。

1. 機器を導入、追加をする際は、中核拠点([w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp))にお申し出ください。
2. Windows系(基盤システムのみ)に接続する端末
  - 基盤システムに導入しているSymantec Endpoint Protectionを利用する。
  - USB、外付けHDDなど外付け媒体は、接続時に基盤システムの端末によりウイルスscanを行う。
  - OSのある端末は、拠点のSEP Manager配下とする。
    - 基盤システムでウイルス対策の適用が同じレベルになります。
    - 遠隔でもウイルス対策状況が把握できます。
3. Mac系(基盤システムのみ)に接続する端末
  - Windows系に準じます。
4. Linux系(基盤システムのみ)に接続する端末
  - OSは可能なRedHatLinuxがよい(現基盤システムはバージョンを検取時でFixしている)。
  - OSがRHELでないなら、OSはstable版で、パッケージは最新のstableとし、Server Protect for Linux, InterScan VirusWall/Linux等をいれる。
  - アカウントはLDAPで管理。
  - 拠点で管理する場合でも、中核拠点でRoot権限を持っている。
  - 拠点Linuxサーバとは、sftp,ftpのみで接続。
  - sftp,ftpは、LDAPユーザのみ、anonymousアカウントの利用は不可。
5. シーケンサ・セルソータ類
  - シーケンサ・セルソータ類は直接基盤システムにつながらない。基盤システムに接続した別のPCとのみ接続。
    - Windows系は上記1.に準じます。
    - Linux系はシーケンサメーカーが機器一式として導入されますが、上記2.準拠を希望。但し、シーケンサ出力データは大容量であることから、ウイルスチェックは、シーケンサ出力データのあるディレクトリを除外することは構わない。(事前に全ディレクトリのチェック)
  - シーケンサ・セルソータ類に付属するPC・WSでのインターネット検索等は原則禁止

## お知らせ

- 「利用説明書-機器停止・起動編-」(機器停止・起動手順書)、拠点パスワード一覧、保守対応表の差し替え
  - 一部機器の終了プログラムの不具合が発見され、お配りした手順書通りでは正常に終了できないことが判明いたしました。暫定的に正常終了できる方法を記載した手順書を拠点IT担当者様へ配布いたします。この不具合の修正プログラムはベンダより提供され、近日中に各拠点に反映して行く予定です。
  - 一部機器の保守対応連絡先、パスワードを更新、追加いたしました。拠点IT担当者様へ配布いたします。
- 札幌データセンタのシステム停止
  - 2013年9月5日(木) 9:00-17:00
  - システムのバックアップとメンテナンスのため
  - 札幌DCのサーバ類を停止し、通信できなくなるため、一部のサービスや機器が使用できなくなります。
    - Spotfire, 解析ソフト, wiki, 拠点Linuxサーバは利用できません。
    - デジペン・デジペンデータのアップロード、iLabber, データ共有(NAS, VFP)は利用できます。
- 大阪大学のシステム停止
  - 2013年11月10日(日)とその前後数日(予定)
  - 受変電設備点検による停電のため
  - 大阪大学拠点内システムは利用できなくなります。
    - 停電が日曜日のため、前後の日程でシステムを停止するかもしれません。

電源設備の定期点検などによる停電の予定日時が決まり次第、[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp) までご連絡ください。

## お問い合わせ

### [ Web ]

- 再生医療HWネットワーク内で以下をご参照ください。(注:インターネット上ではアクセスできません)  
<http://sv-a01.center.reghw/wiki/>

第1回システム説明会でお配りました「厚労再生医療HWプロジェクト拠点機関からの問い合わせ対応」もこちらから参照いただけます。

### [ 直接 ]

- E-mail [w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp)
- Tel. 03-5449-5511, 5131
- Fax. 03-5449-5133

### [ メンバー ]

中井 謙太、朴 聖俊、黒澤 隆、池田 恵美  
研究協力者: 福岡 良忠(バイオグリッドセンター関西)

## 第四回システム説明会

日時：平成25年 12月13日(金) 13:00～16:00

場所：東京大学 医科学研究所 総合研究棟8階 会議室

### 1. プロジェクトの現状報告

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 中井 謙太

### 2. ソフトウェア開発報告

#### ・ 全体概要

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 黒澤 隆

- ・ 実験データの共有と利用促進のための統合システムの設計及び、プロトタイプ作成  
日本電気株式会社 医療ソリューション事業部 ヘルスケア事業推進グループ  
剣持 聡久

- ・ タブレットを用いた再生医療に関する標準手順書登録・閲覧・入力システムの開発  
三井情報株式会社 R&Dセンター バイオサイエンス室 松月宏天

#### ・ タブレットペン入力機能

ポトス株式会社 研究開発部 岩倉 啓祐

- ・ iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞の解析ツールへの機能追加

株式会社三菱総合健研究所 人間・生活研究本部 医療・福祉経営グループ 谷口 丈晃

( coffee break )

### 3. 基盤システムの拠点追加報告

株式会社日立製作所 公共システム事業部 学術情報ソリューション本部 小野寺 進

### 4. セキュリティポリシー構築にむけた現状報告

セコムトラストシステムズ株式会社 情報セキュリティサービス本部 コンサルティング部  
岩藤 圭佑

### 5. お知らせ

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 池田 恵美

# 厚生労働科学研究費補助金 ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための 基盤構築に関する研究

## 再生医療HW基盤システム ～ お知らせ ～

2013年12月13日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 中井研究室  
w3reghw@hgc.jp

1

2013/12/13 第四回システム説明会

## 基盤システムの運用履歴

### [電源設備点検の停電によるシステム停止]

- ・ 2013年7月23日～ 24日 成育医療拠点
- ・ 2013年11月8日～ 11日 大阪大学拠点
- ・ 2013年11月15日～ 18日 東京大学医科学研究所拠点
  - ・ IT担当者様のご協力により、無事、システム停止、再起動を行うことができました。

### [各種機器のメンテナンス]

- ・ 2013年9月18日 spotfire をVer.5へバージョンアップ
- ・ 2013年11月～ セキュリティアップデートのため、RedHatLinuxを6.4へバージョンアップ。
  - ・ 慶応大学、成育医療、東京女子医大、大阪大学：作業完了
  - ・ 札幌DC：2014年1月作業予定
- ・ 他、適宜、個別に対処しています。

### [拠点ヒアリング]

- ・ 現在、セキュリティポリシー構築のためのヒアリングを行っています。
  - ・ ご協力ありがとうございます。
  - ・ 今年度末にセキュリティポリシーの骨子を固める予定です。

2

2013/12/13 第四回システム説明会



## お知らせ

### [ 年末年始の基盤システムサポートの休業 ]

- ・ 2013年12月28日(土) ~ 2014年1月6日(月) (予定)
- ・ 基盤システムは通常通りご利用いただけます。
- ・ ご質問等、[w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp) でお受けいたしますが、ご回答は休業明けとなります。

### [ 札幌データセンタのシステム停止 ]

- ・ 2014年1月6日(月) ~ 1月7日(火) (予定)
- ・ システムのバックアップとメンテナンスのため
- ・ 札幌DCのサーバ類を停止し、通信できなくなるため、一部のサービスや機器が使用できなくなります。
  - ・ Spotfire, 解析ソフト, wiki, 拠点Linuxサーバは利用できません。
  - ・ デジベン・デジベンデータのアップロード, iLabber, データ共有(NAS, VFP)は利用できます。

### [ 拠点機器のメンテナンス ]

- ・ Firewallメンテナンス、日立サーバ機器の保守契約による点検サービスでご訪問させていただきます。
  - ・ 作業期間中は一時的に、その拠点内ではサービス全般が利用できなくなります。
  - ・ 後日、日程調整のご連絡をします。

### [ VFPの共有フォルダの再編成 ]

- ・ 拠点の追加に伴い、VFPの共有フォルダの領域の再編成を行います。
- ・ 2014年2月頃の予定
- ・ 詳細は追ってご連絡します。
  - ・ 作業期間中は一時的にVFPをご利用できない可能性があります。

ご質問等ありましたら、次スライドのお問い合わせ先までご連絡ください。

3

2013/12/13 第四回システム説明会

## 機器の導入、故障について

- ・ 機器の導入、及び故障の際は、中核拠点([w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp))までお申し出ください。
  - ・ 現在、システム全体のセキュリティを維持するため、セキュリティーポリシーを構築中です。構築後は、セキュリティーポリシーのもと、機器の導入、修理、廃棄を行うことを検討しています。
  - ・ スレート端末の修理に出す際、以下のことにご注意ください。
    - ・ インターネットオプションの設定削除(ブラウザのフォーム、パスワード、cookie、プロキシなど)
    - ・ SCP等の設定で保存したID/パスワード等の削除
    - ・ ユーザが作成or保存したファイルの削除
    - ・ 無線LANの設定(SSIDのパスワード等)の削除
    - ・ バックアップ
- HDD交換、データ交換の際は、「データ消去証明書」の発行が可能です。

## お問い合わせ

### [ Web ]

- ・ 再生医療HWネットワーク内で以下をご参照ください。(注: インターネット上ではアクセスできません)  
<http://sv-a01.center.reghw.wiki/>  
 「厚労再生医療HWプロジェクト拠点機関からの問い合わせ対応」もこちらから参照いただけます。

### [ 直接 ]

- ・ E-mail [w3reghw@hgc.jp](mailto:w3reghw@hgc.jp)
- ・ Tel. 03-5449-5511, 5131
- ・ Fax. 03-5449-5133

### [ メンバー ]

中井 謙太、朴 聖俊、黒澤 隆、池田 恵美  
 研究協力者: 福岡 良忠(バイオグリッドセンター関西)

4

2013/12/13 第四回システム説明会

## 第五回システム説明会

日時：平成26年 3月13日(木) 13:00～16:00

場所：東京大学医科学研究所 総合研究棟8階 会議室

### 1. 開会挨拶

東京大学医科学研究所 中井 謙太

### 2. 講演

講師

情報セキュリティ大学院大学 教授 / セキュアシステム研究所 所長  
後藤厚宏 先生

情報セキュリティ大学院大学 客員教授  
森 直彦 先生

### 3. セキュリティポリシー構築 進捗報告

( coffee break )

### 4. ソフトウェア開発進捗報告

- ・ 実験データの共有と利用促進のための統合システムの設計およびプロトタイプ作成
- ・ iPS細胞、ES細胞、体性幹細胞の解析ツールへの機能追加
- ・ タブレットを用いた再生医療に関する標準手順登録・閲覧・入力システムの開発/  
タブレットペン入力機能
- ・ デジタルペン入力機能の拡張

### 5. 拠点からの質問事項について(FAQ)

### 6. その他/お知らせ

# 厚生労働科学研究費補助金 ヒト幹細胞を用いた再生医療の臨床実用化のための 基盤構築に関する研究

## 再生医療HW基盤システム ～ お知らせ ～

2014年3月13日

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 中井研究室  
w3reghw@hgc.jp

1

2014/3/13 第五回システム説明会

## 基盤システムのメンテナンス

### [サーバ機器類のパスワード設定・変更]

- 運用開始から1年経ったため、札幌DC,既存拠点のネットワーク装置、サーバ機器の管理者パスワードを変更します。
- 今年度追加拠点のネットワーク装置、サーバ機器については、構築用のパスワードから、運用用のパスワードに変更中です。
  - 設定、変更が済み次第、IT担当者様にパスワード一覧をお渡しします。

### [FirewallのOSバージョンアップ]

- FirewallのOSの不具合、脆弱性の対策として、OSをバージョンアップしています。
  - 札幌DC, 大阪大学拠点: 3/7(金)バージョンアップ完了。
  - 東京女子医大拠点, 成育医療拠点: 3/12(水)バージョンアップ完了。
  - 中核拠点, 慶応大学拠点: 3/13(木)作業予定。
  - 今年度追加拠点: 最新対策版で構築済み

2

2014/3/13 第五回システム説明会

## お知らせ

### [ HDD廃棄 ]

- ・ 基盤システムのストレージに使用したHDDを故障により交換に際し、交換したHDDは、消去または物理破壊をして廃棄します。故障の際は、ご連絡ください。

### [ 日々のセキュリティ連絡 ]

- ・ JPCERT, Windows update, サポート等より入手したセキュリティ情報を適宜、展開しています。速やかに対応ください。

### [ セキュリティの手引配布 ]

- ・ 端末等の取り扱いについての手引を作成中です。準備できしだい、配布いたしますので、ご活用ください。

### [ ユーザアカウント ]

- ・ 新規で申請される方は、所定の申請書で申請してください。
  - ・ <http://sv-a01.center.reghw/wiki/> から入手できます。
- ・ 異動等に伴い、基盤システムのユーザアカウントが不要になった方は、速やかにIT担当者経由でお申し出ください。

## スタイラスペンについて

別紙参照

## お問い合わせ

### [ Web ]

- ・ 再生医療HWネットワーク内で以下をご参照ください。(注: インターネット上ではアクセスできません)  
<http://sv-a01.center.reghw/wiki/>  
 「厚労再生医療HWプロジェクト拠点機関からの問い合わせ対応」もこちらから参照いただけます。

### [ 直接 ]

- ・ E-mail w3reghw@hgc.jp
- ・ Tel. 03-5449-5511, 5131
- ・ Fax. 03-5449-5133